平成30年度 夏号



に報さーくる

- ・市内初 「フードバンクふなばし」が開設
- ・生活困窮者自立支援制度初任者研修に参加
- さーくる発!簡単レシピ「もやしチヂミ」

市内初 支援が必要な子育で世帯に食品・食材を提供 「フードバンクふなばし」が開設

フードバンクとは

フードバンクとは、包装の破損や印字ミス、賞味期限が近づいた等といった 理由から、品質には問題がないにも関わらず破棄されてしまう食品・食材を、 企業や個人から引き取り、必要としている生活にお困りの人や福祉施設・団体 へ無償で提供する活動です。

市内初のフードバンクとして、平成30年4月に「フードバンクふなばし」 が開設され、同年6月より市内の支援が必要な子育て世帯に食の支援を行って います。

寄付者

企業 農家

個人宅など

生活にお困り の人、福祉施 設•団体

受贈者

「フードバンクふなほし」代表の笹田明子さんにインタビュー



食を通じた支援で笑顔あふれる子どもが増えてほしい

平成29年4月に子ども食堂「こっこ」を市内浜町地区に開設し、運営のなか で子どもへの支援と子育て世帯への支援は切り離せないことを実感しました。さ らに応援をしたいと思い、「フードバンクふなばし」を平成30年4月に立ち上 げました。立ち上げのきっかけは、「こっこ」の開設準備で訪れた「フードバン クちば」(千葉市)です。子ども食堂の先にフードバンクの存在があることを知り ました。「フードバンクふなばし」では、子育て世帯に食費という形で援助するこ とはできませんが、食品・食材の提供を通して「食べられる」という安心感で子 どもが笑顔になれればいいなと思っています。

<u>=/09~#/99&=/09~#/99&=/09~#/99&=/09~#/99&=/09~#/99&=/09~#/99&</u>

「フードバンクふなばし」の概要はこちら

く対象> 支援が必要な子育て世帯

く支援内容>

米(前年度米に限る)、麺類、粉類、缶詰、瓶詰、 インスタント食品、レトルト食品、乾物、菓子類、 調味料各種、食用油、飲料など

※無償で引き取った食品・食材を無償で分配する ため、常に生活に必要な食品・食材がそろって いるわけではありません



く問い合わせ>

<開催日時>

○支援希望について⇒「さーくる」

ますので、ご利用ください

く食品・食材の寄付にご協力ください> 左記支援内容に記載の食品・食材の うち、賞味期限が2か月以上空いてい

るものの寄付にご協力をお願いします。

※コープ薬円台店・市川店に常設の

食品回収ボックスを設置しており

○食品・食材の寄付等について⇒「フードバンクふなばし」

TEL:080-6253-0357 (平日のみ) 所在地:船橋市高瀬町66-3 船橋ラビット内

TEL:047-495-7111(平日のみ)



支援を希望する世帯からの相談を「さーくる」が受け、生活状況や 家族構成等を伺ったうえで、必要に応じて「フードバンクふなばし」 の案内を行い、申し込みのあった世帯に食品・食材を配送いたします。

食堂の名前は、子どもが親しまれるように、ひよこを連想させ、「子ども食

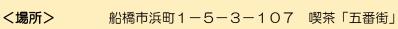
堂はここだよ!」という意味を込めています。地域の皆さんに気軽に来てもら

える食堂です。一緒においしい楽しいご飯を食べましょう!



子ども食堂「こっこ」のご案内

(問)「こっこ」TEL:090-8041-1369(平日のみ)



毎月1回、日曜日(開催日は月によります)

正午から午後3時まで

子ども(中学生以下):無料、大人:500円 <参加費>





▲倉庫の段ボールには協力企業から

寄付された備蓄米等が入っています

生活困窮者自立支援制度初任者研修に参加

事例検討を通して、関係機関の考え方を学べました



▲グループワークで「生活保護以外に考えられる自立支援の方法」を話し合いました

5月28日·30日、千葉県庁にて、さ一くる新任相談員が生活困窮者自立支援制度初任者研修を受講しました。総勢68人の参加者のうち、さまざまな背景をお持ちの経験豊かな職員も多数出席していました。

「生活困窮者とは何か」「なぜ人は生活困窮に陥ってしまうのか」など、基本的な考え方から始まり、具体的な事例検討まで、実践に活かせる研修内容でした。特に各自治体の生活保護担当者・社会福祉協議会・委託事業職員等が集まった事例検討は、関係機関の考え方を知ることができる

非常に有意義なものでした。社会資源を十分効果的に活かすことや支援のネット ワークづくりを行うことが私たちさ一くるには必要であると感じ、改めて責任は重大であると身の引き締まる思いがしました。今後も関わる職員が自己研鑚を続け、この研修で繋がったネットワークも上手に活用し、一人でも多くの市民のお役に立てるよう努めたいと思いました。

中核地域生活支援センター大会 in 2 0 1 8 「社会の変容と家族のカタチ〜多様な『つながり』を考える〜」

さまざまな「家族のカタチ」に合った支援が大切と感じました

中核地域生活支援センターとは、千葉県内13か所に設置され、24時間365日対応で制度の狭間や複合的課題を抱える人等への相談支援を行う福祉の総合相談窓口です。7月21日、千葉市生涯学習センターにて、県内の中核地域生活支援センターが一堂に会し、講演やシンポジウムが行われる「中核地域生活支援センター大会 in 2018」が開催されました。

今年のテーマは「社会の変容と家族のカタチ〜多様な『つながり』を考える〜」。午前には、立教大学コミュニティ福祉学部教授である湯澤 意義氏による講演「家族の変容と望まれる社会的支援のあり方」が行われました。単身世帯やひとり親世帯の増加から、今一度「家族とは一体何か」を問い直す必要があることなどの問題提起がありました。午後には、問題提起を受けて、シンポジウム「家族って何だろう?〜さまざまな『つながり』の可能性〜」が開かれました。木更津市の児童家庭支援センターのソーシャルワーカーであるフランク・オカンポス氏やLGB T支援を行う団体「レインボー千葉の会」共同代表である上井ハルカ氏らが参加し、現在の日本における家族の課題について、外国籍やセクシャルマイノリティの視点を含めて議論がなされました。



▲約300人の参加者が湯澤氏 の講演に聴き入っていました

大会に参加し、外国籍の家族や同性カップル、ひとり親世帯などといったさまざまな「家族のカタチ」に応じた支援を届けられるよう、相談支援にあたりたいと思いました。

さーくる 発!簡単レシピ

「もやしチヂミ」

<材料(1人分)>

- もやし 1/2袋ごま油 小さじ1/2
- ・薄力粉 60g・お好みの具材
- ・片栗粉 大さじ1 (シーチキン・ひき肉など)
- ・塩 小さじ1/2 ・お好みのたれ
- ・水 90cc (醤油・酢・ラー油など)
- 卵 1個フライパンに引く油

Hill Hills

く手順>

- ① もやし以外の材料をすべて混ぜ合わせる。
- ② 洗ってよく水を切ったもやしを①に混ぜる。
- ③ 熱したフライパンに油をひき②の生地を流し込む。
- ④ 表面が乾いてきたらひっくり返し、両面をこんがり焼く。

★ポイント

焦げを防止するため、途中で生地を持ち上げ、鍋肌から油を 注ぐとキレイに焼けます。

入職者 · 退職者 挨拶

入職者 これからよろしくお願いいたします

はまた いまうた (6月1日付)、高沢 由紀 (7月17日付) ままやま まま (8月1日付)、大山 恭子 (8月20日付)

※職種はすべて相談員

〔発行・編集】

社会福祉法人 生活クラブ ~あなたの尊厳を守ります。~

船橋市委託事業

船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる(circle)

所在地 船橋市湊町2-8-1 1 市役所別館 1 階

TEL 047-495-7111 FAX 047-435-7100

HP http://www.kazenomura.jp E-MAIL circle@kazenomura.jp



と交流をしていくこと交流をしていると言われています。 私もいろいろな人として成長を を関わって魅力的な 人間になりたいなあ と思います。

は、これでは、他者で、一つは「調和」では、一つは「調和」で

